

VRとアバターがもたらす自己変容

現実編集技術



2024.1/12 [Fri]

18:00~19:30 (受付17:30~)

港区立産業振興センター 研修室1

港区芝5丁目36番4 札の辻スクエア10F

港区立産業振興センター9階総合受付 TEL:03-6435-0601

人工的に現実感を作り出すバーチャルリアリティ(VR)や、身体変容体験を作り出すアバターといった「現実編集技術」は、ユーザーの心を変容させる。それゆえVRやアバターは、社会から「なりたい自分になる」ための技術として期待されてきた。

VRにおけるアバターの心理学では、身体化されたアバター体験がユーザーの知覚、認知、行動を変容させることがさまざまな角度から明らかにされている。

アバターの外見がユーザーの態度や振る舞いを変容させるプロテウス効果や、他者の立場をアバターで経験することで共感促進を狙うVR Perspective-takingなどに基づけば、身体はむしろ、望ましい自己を引き出すために編集可能なインターフェースとして捉えることもできる。現在では、実験室の外側で急速に広まりつつあるソーシャルVR(メタバース)という現場において、ユーザーは各々の「アバターとしての自己」を通じて新たなアイデンティティを実践しながら、独自の交友関係や文化の蓄積も盛んに行われている。

さらに実社会においても、テレプレゼンスロボットを通じた社会参画が普及しつつある。例えば障害や介護などのさまざまな事情によって外出困難となっている人々がロボットアバター OriHimeを通じて接客サービスを提供する「分身ロボットカフェ DAWN ver.β」では、アバターによって障害が前景化しない場が創出されることで、多くのユーザーが現在や未来を規定していた過去の条件付けを解除し、自己の可能性が未来に開かれていることを予期できるようになっている。

本講演では、VRやアバターといった現実編集技術がもたらす自己変容について研究事例を挙げながら概説するとともに、編纂された現実としてのメタバースや Mixed Realityが切り開く未来社会について考察する。



【講師】
東京大学大学院情報学環
助教
畑田 裕二



2024.1/12 [Fri]

18:00~19:30 (受付17:30~)

港区立産業振興センター 研修室1

港区芝5丁目36番4 札の辻スクエア10F

お申込み方法

二次元コード、または港区産業振興センターHPのビジネスサポートファクトリー[イベントページ]からお申込みいただけます。

※要事前申込み



【主催】港区立産業振興センター指定管理者 みなと・キャンパス・リログループ
(事業担当:株式会社キャンパスクリエイト)

【お問い合わせ】港区立産業振興センター9階 総合受付
TEL 03-6435-060 <https://minato-sansin.com>



港区立産業振興センター

港区立産業振興センター 総合受付 TEL 03-6435-0601

【施設利用受付時間】月~土・祝 ▶ 9:00~21:00 日 ▶ 9:00~16:30

【ホームページ】<https://minato-sansin.com>